

平成18年度当初予算 施策別概要

525 IT（情報通信技術）の 利活用によるサービスの 高度化

（主担当部：政策部）

52501	IT（情報通信技術）を活用したサービスの提供	（政策部）
52502	ブロードバンド・ネットワーク（高速大容量の情報通信網）の活用推進	（政策部）
52503	適切な公共事業情報の提供	（県土整備部）
52504	情報化を支える人づくり	（政策部）
52505	情報通信環境づくり	（政策部）

< 施策の目的 >

（対象）情報通信サービスを活用する県民が

（意図）インターネットを通じて、いつでも、どこからでも情報の受発信ができるなど、便利な生活を営んでいる

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
インターネット人口 普及率（％）	目標値	-	50.2	55.1	60.0
	実績 （見込み）値	45.3	40.8	50.9	-

毎年発行される総務省の情報通信に関する現状報告から、インターネットを利用する県人口の割合

< 平成18年度に残っている課題 >

17年度に引き続き、「三重県におけるIT利活用の基本方針」に沿って、効果的・効率的な行政運営と県民サービスの向上に向けた情報化に取り組む必要があります。

住民に最も身近な市町の情報化を促進するため、市町の情報システム共同化の取組に参画、支援が必要です。

公共事業の透明性向上や計画立案への県民参画を促進するため、入札情報を含め、計画から維持管理に至る情報について、ITを利活用したわかりやすい情報共有・提供を進める必要があります。

だれもが情報化の利便性を享受することができるよう、障害者のIT利活用についてのサポートを行なう必要があります。

行政WAN等の基幹ネットワークの安定的な運用を行なうとともに、今後のネットワークのあり方について検討が必要です。

ITを安全安心に活用できるよう、職員のセキュリティ意識の高揚を図るとともに、技術面・運用面におけるセキュリティ対策を推進する必要があります。

<平成18年度の施策の取組方向>

効果的な情報化推進の仕組みや支援体制、情報システム構築・運用についてのガイドラインを検討します。

電子申請、デジタル地図等の市町情報化の取組に参画、支援を行います。

公共事業の透明性向上に向けて電子入札・電子納品の普及・啓発に努めるとともに、「公共事業情報統合データベース」による情報の集約を行い、三重県GISと連携した情報共有・提供に努めます。

障害者のIT利活用に関する相談や研修を実施するとともに、指導者の育成に努めます。

情報化の進展に応じた行政WAN等のネットワークの運用について、容量や安定性、セキュリティ、費用対効果等について総合的な検討を行ないます。

三重県電子情報安全対策基準（情報セキュリティポリシー）の定着化を図るため、職員研修や監査を実施するとともに、情報システムのセキュリティ維持に努めます。

<主な事業>

GIS整備推進事業費

【基本事業名：52501 IT（情報通信技術）を活用したサービスの提供】

当初予算額： 55,777千円 34,652千円

事業概要：GISの利便性の向上を図り、更なる業務の効率化をめざすとともに、地域振興、産業振興に活用していきます。

公共事業支援統合情報システム構築事業費

【基本事業名：52503 適切な公共事業情報の提供】

当初予算額： 101,425千円 24,555千円

事業概要：三重県GISと連携しながら「公共事業情報統合データベース」の運用を行い、電子化された公共事業情報の有効活用を行います。

障害者ITサポートセンター事業費

【基本事業名：52504 情報化を支える人づくり】

当初予算額： 2,921千円 2,921千円

事業概要：障害者のデジタルデバイドの解消のため、障害に応じた研修や相談を行うとともに指導者の育成を行います。

（一新）ネットワーク基盤維持管理費

【基本事業名：52505 情報通信環境づくり】

当初予算額： 835,146千円 384,810千円

事業概要：情報通信基盤の保守・運用を行い、庁内各システムの安定的な業務処理を確保します。また、安定的・効率的な行政WAN運用のための調査検討を行います。

セキュリティ対策推進事業費

【基本事業名：52505 情報通信環境づくり】

当初予算額： 270,919千円 93,096千円

事業概要：三重県電子情報安全対策基準（情報セキュリティポリシー）の定着化を図るため、職員研修や監査を実施するとともに、セキュリティに関する技術的な対策や情報資産の適正な管理をすることで情報セキュリティの確保に努めます。